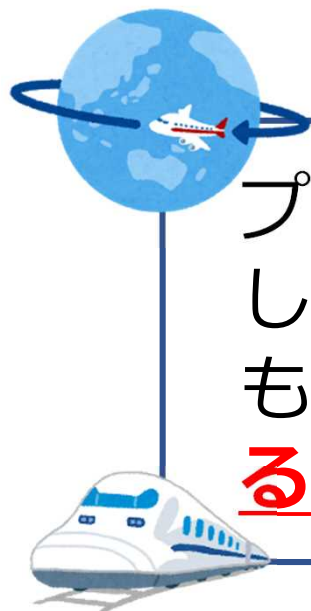


# COVID-19への対応に向けたJST「プランB」



## 「プランB」とは

プランA（ワクチン・治療薬開発）と並行してコロナウイルスの存在を前提にしつつも、**制限無く移動ができ、自由に人と会える・集える、経済活動ができる社会**を実現



一方、現状の対策では  
人々の行動を制限せざるを得ない

現状

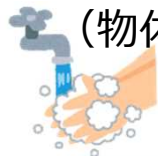
見つける



検温、PCR・抗原・抗体検査



清める



手指消毒、アルコール除菌  
(物体表面除菌)



護る



感染者行動検出・隔離、マスク

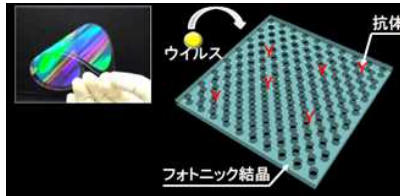


**科学技術イノベーションによる対策のアップグレードが必要**

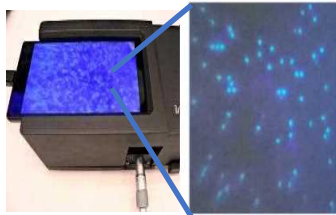
# プランB

## JST 見つける

高感度ウイルス検出技術  
(物理的空間)



フォトニック結晶シート 研究開発中



デジタルウイルス検出法 研究開発中

低侵襲高速高感度検出技術

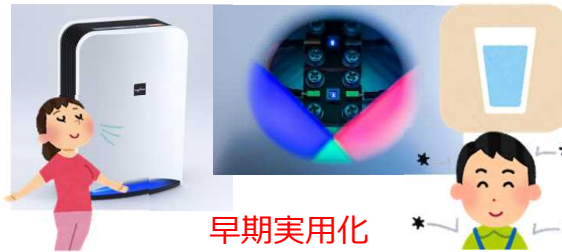


低侵襲ハイスループット光濃縮システム

研究開発中

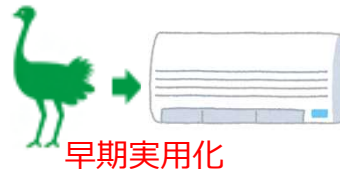
## JST 清める

深紫外LED (空気、水、エア  
カーテン、マスク殺菌等)



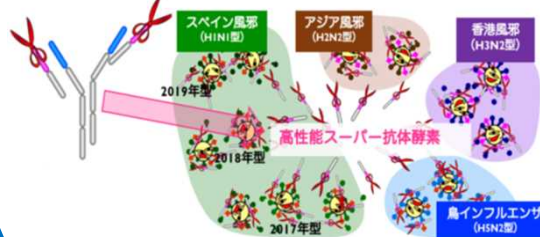
早期実用化

ダチョウ抗体 (エアコン  
フィルター等への応用)



早期実用化

ウイルス不活化技術  
(スーパー抗体酵素)



研究開発中

## JST 護る

高機能マスク  
(ダチョウ抗体等)



ダチョウ抗体 実用化済

遠隔検診システム



クラウドサービスMeDaCa

実用化済

# 見つける・清める・護る技術の最適な配備

病院・介護施設・学校等の脆弱性や、当該技術のコスト・生産能力等を考慮した最適な配備を考える必要がある

## 病院・診療所 (国民を護る)



### <病院・従事者数>

病院数（歯科医院除く）：約11万院\*1  
医師数（医療機関従事者）：約31万人\*2  
看護師・准看護師数：約129万人\*3

### <特徴>

- 直接感染者に対する診断・治療が必要
- 院内感染の回避
- 患者の症状によっては看護時等に密着する必要あり
- 薬機法により認可等必要な場合あり

\*1：厚生労働省平成30年度医療施設（動態）調査  
\*2：厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師統計  
\*3：厚生労働省平成30年衛生行政報告例（就業医療関係者）から病院、診療所、助産所、訪問看護ステーション従事者を集計

## 介護保険施設 (高齢者を護る)



### <施設・定員・従事者数>\*1

施設数：約13,000施設  
定員数：約97万人  
従事者数：約62万人\*2

### <特徴>

- 要介護者が高齢・持病等重症化しやすいリスクを抱えているため、徹底した防護が必要
- 医療機関ほど感染症に対する設備が整っていない
- 要介護者の症状によっては介護時に密着する必要あり

\*1：厚生労働省平成29年介護サービス施設・事業所調査  
\*2：厚生労働省平成29年介護サービス施設・事業所調査の1事業所当たり従事者数に事業所数を乗じ算出

## 学校 (日本の未来を護る)



### <学校・生徒・教員>\*1

小中高等学校数：約35,000校  
児童生徒数：約1,283万人  
教員数：約90万人

### <特徴>

- 児童生徒間のソーシャルディスタンス確保が困難
- 衛生管理の徹底が困難
- 無症状感染の多発リスク（学校だけではなく、家庭内クラスター発生リスク）

\*1：文部科学省令和元年度学校基本調査（確定値）

## 商業施設 (経済を回す)



### <小売業事業所・従業員数・売上高>

\*1  
事業所数：約48万事業所  
従業員数：約539万人  
年間売上高：約130兆円

### <特徴>

- 不特定多数の来客があり、感染リスクあり。感染経路の特定困難
- 業態により対人スペースは様々。対面接客を行う場合は感染リスクが増大。

\*1：経済産業省平成28年度経済センサス

## 飲食業 (経済を回す)



### <酒場等事業所・従業員・売上高>\*1

事業所数：約16万事業所  
従業員数：約74万人  
年間売上高：約3.15兆円

### <特徴>

- 密の条件を満たす空間、接客形態のため感染リスク大
- 従業員、客等からのクラスター、感染拡大問題化（夜の街事例）

\*1：経済産業省平成28年度経済センサスから、酒場、ビアホール、バー、キャバレー、ナイトクラブを合算

## イベント・移動 (経済を回す)



### <国内イベント消費規模・国内旅客数>

国内イベント全体消費規模：約17.5兆円\*1  
国内旅客数：約314億人\*2

### <特徴>

- 不特定多数が集い、大声を発する、長時間の接触等感染リスク大
- 感染経路、濃厚接触者の特定困難

\*1：一般社団法人日本イベント産業振興協会「2019年イベント消費規模推計報告書」

\*2：国土交通省平成30年度鉄道輸送統計調査・航空輸送統計調査・自動車輸送統計調査より合算

# COVID-19への対応に向けたJST「プランB」

それぞれの施設に最適な技術を  
最適な分量でより迅速に配備することで

